

田川を起点としたにぎわい復興 ～FROM TAGAWA TO THE FUTURE～

宇都宮共和大学 まちまちサークル

メンバー

山本 悠太 植木 翔瑛 河俣 大輝

提案の背景



- JR 宇都宮駅西口につながる大通りの歩行者通行量が減少傾向
- 歩行者通行量減少によるにぎわいの低下
- 交流の拠点となるような広場が存在しない

提案の背景

JR宇都宮駅東口



ライトキューブ宇都宮

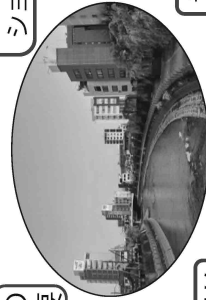
JR宇都宮駅西口



交流の拠点となる
広場がない

なぜ交流の拠点が必要なのか

地域コミュニティの
創出の場として重要



治安の悪化対策

青少年の健全な育成

交流拠点・広場の質的拡充は、
街としての価値向上に寄与

田川に着目した理由

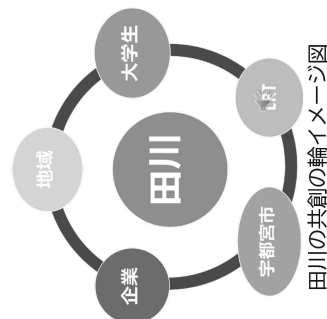
駅前には大きな河川が流れているのは珍しく、希少性が高い
かつては人々が集いにぎわいにあふれていたが、現状はにぎわいが失われ、田川という希少な資源を生かされていない
河川はにぎわい創造、交流の場として活用されている事例が数多くあり、田川は本提案の目標達成に適している

課題との関連

まちに広がる「共創」の輪
～「新たな価値」の創造を目指して～

大学生や宇都宮市に住む地域の方々や西口延伸予定のLRTなども巻き込み、田川を中心に共創の輪を形成

共創の輪によって田川は、JR宇都宮駅西口の交流拠点として生まれ変わり「にぎわい」を創造する



宮桜祭の開催

【開催日時】
2024年4月6日（土）

【主催】
宮桜祭実行委員会

【内容】
ライブステージ
飲食出店
会場装飾、ワークショップ

【予算】
約15万円
資金は企業から「協賛金」として収集



飲食出店



ライブステージ

宮桜祭準備

宮桜祭準備期間スケジュール

2023年 12月	宮桜祭実行委員会発足
2024年 1月	ライブステージ出演者の決定 飲食出店者の選定、行政申請準備
2月	飲食出店者の確定、予算確定 チラシの作成、会場図、行政申請確定
3月	消防、保健所への書類申請完了 企業への協賛依頼完了
4月	装飾物の準備完了、当日の役割分担の 確認、最終調整
4月6日	宮桜祭開催



作成した宮桜祭のチラシ

宮桜祭の結果

- 総来場者数 | 600名以上
- アンケートによる満足度7割以上
- 当日の天候が雨だったにもかかわらず、多くの人が来場し、にぎわいを創造できた
- イベントを今後も継続的に行うことの価値は大いにありと改めて実感

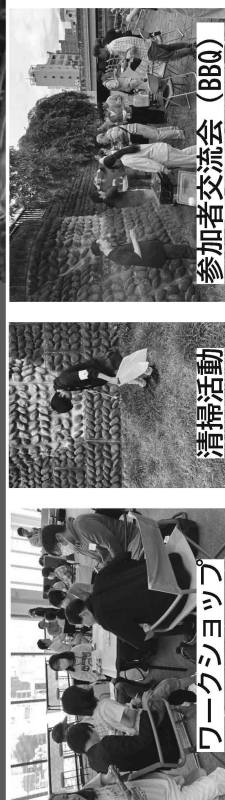
にぎわい創出の課題

田川遊歩道の利用申請が難解

準備期間が長く、大学生のみでは持続困難

ポイ捨てされたゴミが多い

みんな田川でバーベQ！



参加者交流会 (BBQ)

【内容】

第一部
若者まちなか活動・交流センターで、若者と地域の交流について考えるワークショップを開催。

第二部
幸橋から押切橋の田川河川敷および川沿いの歩道の清掃活動
参加者交流会 (BBQ)

フィールドワーク「田川まち歩き」の実施

【実施日時】
2024年10月28日

【まち歩き実施範囲】
幸橋から押切橋の間（右の図の赤線）

【調査内容】
・自分の足で歩き、課題の模索
・ゴミ拾い
・階段の段差、奥行き測定



田川まち歩き調査結果

まち歩き

ゴミ拾い

階段測定

各階段の
写真
↑



	幸橋付近	トナリエ宇都宮前	押切橋付近
段差	23cm	17cm	22cm
奥行き	44cm	47.5cm	44.5cm



階段測定の様子

田川まち歩き課題



田川遊歩道に下りる階段が3か所しかなく、一番人通りの多い『宮の橋』から距離がある



階段の段差が急であり、高齢者や障がい者の方々にとって非常に不便である



宮の橋の下が暗く、ゴミも多く散乱していたため、治安が心配である

施策事業の提案

『田川 future design』プロジェクト



『田川 future design』プロジェクト

田川を起点とした
交流拠点・にぎわいの創出

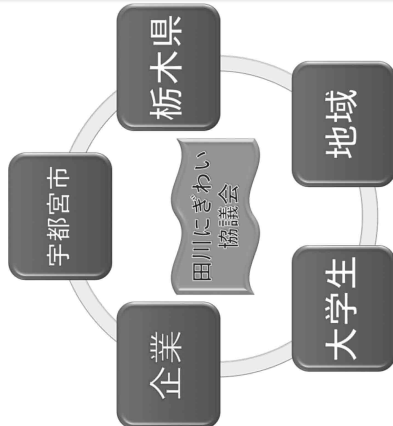
3つの施策からなる総合的なプロジェクト

① 田川にぎわい協議会
発足

② 誰もが利用しやすい
環境整備

③ 独自の水害対策

田川にぎわい協議会の発足



栃木県、宇都宮市

- 栃木県と宇都宮市が協力して環境整備
- 栃木県土木事務所と宇都宮東警察署を含めることで、協議会の中で一元的にイベント等の申請と承認がスムーズになる

地域、企業、大学生

- 個々の組織や企業等のみでは実現困難だった継続的なイベント開催が実現
- 共創により今までにないアイデアや構想が生まれ、新たな価値の創造にもつながると考えられる

田川にぎわい協議会の発足

《年間イベントスケジュール》

1月	田川初市	7月	田川流しそうめん
2月	田川ぬくぬくフェス	8月	宮灯ろう祭
3月	田川グルメフェス	9月	宮秋祭
4月	宮桜祭	10月	田川ハロウィン
5月	田川黄ぶなのぼり	11月	田川芸術祭
6月	田川IBBQ	12月	クリスマスin田川・ライトアップ

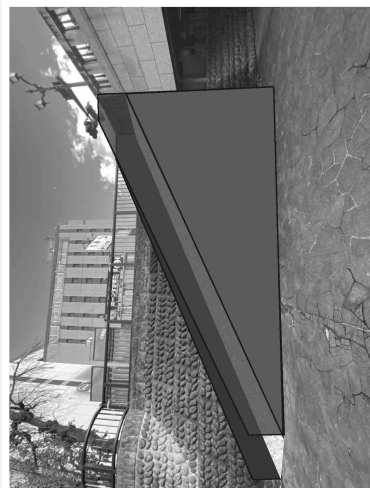
※毎月、第3日曜日に開催！

【協議会発足後のイベントスケジュールのイメージ】

継続的なにぎわい創造が可能になる

誰もが利用しやすい環境整備

スロープの設置



階段の段差が急

スロープの設置

高齢者、障がい者の
方々が利用しやすく



イベントの際、備品の
搬入がスムーズに

誰もが利用しやすい環境整備

田川遊歩道の拡張



イベントの開催中
通行人に迷惑が掛かる

遊歩道の拡張により改善

さらに...
キッチンカーなども入れる
イベントの質が向上
リピーターの増加

継続的なイベント開催に貢献

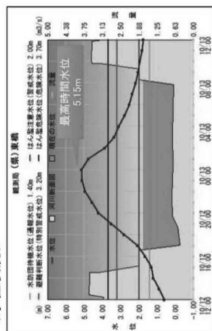
独自の水害対策



宮の橋周辺における氾濫の様子

宮の橋周辺における氾濫の様子
(栃木県県土整備部河川課から引用)

<水位状況>

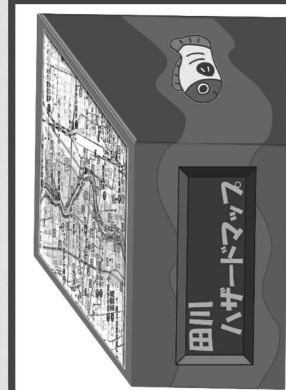


東橋水位観測所における水位
ハイドログラフ
(栃木県県土整備部河川課から引用)

何らかの水害対策が必要

ハザードマップの可視化 私たちの身近な川とうまく付き合うために

田川周辺の水害ハザードマップを
石碑型オブジェとして設置



【田川ハザードマップのイメージ図】

田川周辺の水害ハザードマップを田川を利用する人々に受動的に見せることが可能



景観に配慮しつつ、田川を利用する人々に田川の水害対策を伝えられる

ご清聴ありがとうございました